

看板設置しました



長手町内の道路脇に、看板を設置しました。前号でもお伝えしたのですが、この付近ではペットボトルの不法投棄が行われています。我が家のゴミ箱のように、ポイポイ捨ててあります。私は長手総代・才津さんに不法投棄の相談に伺った際、この場所に案内されました。ビックリです！普通に車が通っている道の横に捨ててあるんです。それも、何個も！このままではダメだと思い、看板を設置しました。

捨てられたゴミは、誰かが回収しないとなくなります。ルールを守りましょう!!!

ボランティア 募集中



崎山地区まちづくり協議会は、ボランティアを募集しています！

草刈りやカボチャの苗植え、子ども達とゴミ拾いなど考えています。毎回参加できなくてもかまいません(*^▽^*)少しでも興味がある方、崎山出張所までご連絡下さい。お待ちしております♪♪♪

崎山地区人口統計表 (令和4年3月31日 現在)

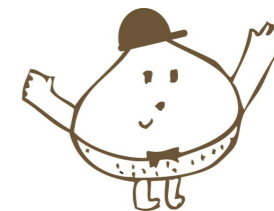
	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区
男	72	74	45	55	56	53	76	97	95	39	43
女	87	83	62	73	65	64	85	109	93	53	52
合計	159	157	107	128	121	117	161	206	188	92	95

崎山地区全体 男 705名 女 826名 計 1,531名 (先月比-12名)

崎山地区まちづくり協議会 事務局 集落支援員 奥野

五島市役所 崎山出張所内 TEL 0959-73-6389

まち協通信 第24号



コダ(高田)地区・初歩き

コダ(高田)地区って、ご存知ですか？



火の岳の麓に、高田地区がありました。今は、人が住んでいた形跡も残っていませんが、確かに人が住んでいたんです。昭和40年代まで、民家もありました。田んぼもあったそうです。(そうなんです！崎山に田んぼがあったんです！)その場所を、子ども達と動植物の観察ができるように(里地里山の保全)“崎山鑑瀬自然を守る会”さんが散策コースを作りました。



倒木などをチップにし、道を作りました。

3月26日(土)自然体験学習会を行いました。あいにくの雨で、初歩きは断念し、改善センターでコダ地区に生息している植物の勉強会を行いました。“名前”“在・外来種”“漢方薬として使用できるか？効能は？”など、いろんな内容を勉強しました。

すると雨が上がり、実際にコダ地区散策コースを歩いてみることにしました♪♪♪子ども達が歩いてみると、大人が気付かなかった植物や昆虫を発見していました(≧▽≦)目をキラキラさせて探している子ども達を見て、この取り組みに関わった会員さん達はとても嬉しかったと思います。

これからも、子ども達と生物多様性について勉強をしていきたいと思っています。

鬼岳火山群の溶岩台地（ジオ）に生きる “さっきゃまびと”

Vol.9
2022.5.1 発行
発行責任者
崎山地区まちづくり協議会
代表 古里 幸一
090-2393-1990

・・・勤儉質朴と地百姓の年貢・・・

前号（Vol.8）に延宝年間（1673～1681）の崎山村飢饉について記載してみた。
今回は五島藩が飢饉に見舞われた寛文～延宝年間（1661～1681）、四代將軍徳川家綱から五代將軍綱吉治世での五島藩「地百姓の定」について、五島文化協同人誌 浜木綿 第20号 近世離島の生活（一）“寛文・延宝期を中心に”の記載の中で、内海紀雄氏が分かりやすく調べているので引用させていただきます。

崎山掛りは「地百姓」とされ、藩中の各掛り同様に貢租を負担していた。
「米、麦、大豆、粟などの年貢の他に年間計一カ月近い夫役（労働提供）、小物成として炭二俵、苦（とま）四枚、綿十匁（もんめ）、形石（椿の実）を一軒につき一升二合、頭割り（15才～60歳）で二升四合、縄を一人三十尋（ひろ）、村によってはさらに栗、椎の実、椎茸、やまもも、しゅろの皮なども納めた。江戸歩銀（江戸屋敷詰めの夫賃金）として、薪五束か銀五匁、馬の飼葉を高十石の地を耕作する場合三十束、同飼葉を一人前三俵ずつ納めた。」とある。

この貢租を現代風に重税とみるかどうかは個々人の見解によるが、家族を養いながらの農作業と夫役大変であったことには違いない。因みに下記の写真は天候に恵まれた崎山の収穫前の小麦畑である。



川が無く、渇水期に雨乞いまでする“さっきゃま”、台風による農作物被害がでたとき先祖さまたちは食うや食わずで貢租の定めはどう対応してきたのであろうか。幼かったころ祖父宅はまだ麦藁屋根だったが、敷地内にはしゅろの木があったのを覚えている。皮ははがされ葉枝部分に残っていたのを覚えているが、その名残りなのだろうか。また雨の日は、いつも土間で藁を叩き、縄や草履を作っていた祖父の姿が目につく。勤儉質朴・・・明治22年（1889）南松浦郡崎山村が発足し、昭和29年（1954）福江市へ合併する際、当時の村長が「ふるさとのあゆみ崎山」で“さっきゃまびと”を評した言葉である。“仕事に励み無駄な出費を少なくする生活を素直に受け止めてきた先祖さまたち” その裏には、川の無い火山台地で飢饉をも生きぬいて来た暮らしがある。想像すると物悲しくなるのは私だけだろうか・・・
水に限定するなら現在でも渇水期になると、中野にある貯水槽が潤れることがある。
鏡瀬集落にある共同井戸の水を利用することもある。“さっきゃまびと”にとって、水資源の安定確保は避けては通れない解決すべき問題なのではないだろうか。

社会福祉法人さゆり会は、“崎山鏡瀬自然を守る会”“崎山まちづくり協議会”を応援しています。

ちょっとここで、お勉強♪♪♪



「勤儉」とは？… 勤勉で儉約なこと。仕事に励み無駄な出費をすくなくすること。

また、そのさま。

「質朴」とは？… 性格が素直で律儀なこと。また、そのさま。純朴・素朴。

「勤儉質朴」とは、勤勉かつ儉約、かざりけなく律儀であること。

「貢租」とは？… 田畑の耕作者がその領主に対して貢納する租税（年貢）。

「苦」とは？… “菅” “茅”などを粗く編んだむしろ（敷物）。和船や家屋を覆って雨露をしのぐのに用いる。

「匁」…3.75g、昔一文銭の目方3.75gは重さの基準でした。「一文銭の目方」という意見で「文目」と呼ばれ「匁」と書くようになりました。今でも5円玉は3.75g = 1匁です。現代では世界の真珠取引の重量単位「momme」に受け継がれています。

「俵」… 60kg

お米…「一升」… 1.4kg 10合で一升なので1合は140g

日本酒…「一升」… 1.8L 10合で一升なので1合は180ml



おしゃべりしませんか？

新型コロナウイルスの影響で、集まる機会が減ってませんか？いつまで、自粛しなければいけないの？と日々思っていることでしょうか。男女・年齢問わず、出張所に寄ってこんな（笑）？日にち・時間等決まりましたら、まち協通信にのせますので、ぜひぜひお越しください。楽しみにしていますね♪♪♪



五島市ジオチャンネルの第12回は『崎山編』です。火山の麓の崎山地区の紹介になってます。今回は出演者も多数、内容も面白くなっていると思います！良かったら、見て下さいね！

<https://youtu.be/v7oHdbXvT9g>

～五島ジオパークとは～

ジオパークとは、「地球・大地(ジオ:Geo)」と「公園(パーク:Park)」を組み合わせ「大地の公園」という意味です。ジオパークでは、見どころとなる場所を「ジオサイト」に指定し、多くの人々が将来にわたって地域の魅力を知り、利用できるような保護を行います。その上で、ジオサイトを教育やジオツアーなどの持続可能な方法で経済活動に活かし、地域を元気にする活動や、そこに住む人たちに地域の素晴らしさを知ってもらう活動を行う取り組みです。



五島列島ジオパーク
Goto Islands Geopark